

無料

TAKE
FREE

HOPE
ほーぷ

太田記念病院だより

vol.45

2017.01

【特集】 当院の役割について【第四弾】
病院機能評価

新年のご挨拶

診療科紹介
循環器内科

糖尿病編

～食事を変えてカラダ改善～

かかりつけ医・登録医ご紹介

足立医院

リハビリ通信



理念:

思いやりの心で行う医療

基本方針:

- 1.患者様の人格と権利を尊重し、何よりも安全を重視した医療を提供します。
- 2.常に医療の質の向上を目指し、救急医療の充実に努めて地域の医療に貢献します。
- 3.病病・病診連携を推進し、患者様がより良い医療を受けられるように努力いたします。
- 4.健康保険組合の一員として、地域住民の保健や福祉にも貢献し、信頼関係を深めるように努めます。

CONTENTS

02 新年のごあいさつ

03 診療科紹介
循環器内科

04 病院機能評価

06 栄養課通信
糖尿病編

07 かかりつけ医・登録医ご紹介
足立医院

リハビリ通信

08 お知らせ



新年のごあいさつ

太田記念病院 病院長

佐藤吉壮

● 駐車場スペースの拡充

明けましておめでとうございます。

昨年は、施設内においては大きな工事を必要としませんでした。移転以来課題となっておりました駐車場スペースの拡大に着手し、敷地の道路を渡った北側に約230台分の駐車場を2017年1月より利用可能といたしました。病院を利用する方々には、満車になる等のご迷惑をおかけしておりました。当院ご利用の際にはご活用ください。

次に、現在の職員の状況をお知らせしたいと思います。

2016年12月1日現在で、常勤医師104名(うち初期研修医10名、後期研修医11名)、看護部門529名、医療技術部門139名、事務部門139名の合計911名となっております。

消化器内科医を5名に増員したことで上部消化管、下部消化管内視鏡が充実し、消化器外科と協力して内視鏡センターを運営しております。しかし、ハード面では需要にすぐにお応えすることが難しく、今後の検討課題と考えております。

消化器内科を含めて内科系医師は22名となり少しずつ充実してきてはおりますが、一人診療科もありすべての診療科で毎日外来を行う体制は取れてはおりません。内科系医師の充実が地域の皆様のニーズに応えるためのさらなる

課題として認識しております。

救急科は年々充実してきており現在7名で、2016年9月より24時間365日体制での受入れを開始し救急応需率は97%を超え、小児科および産婦人科は従来通り24時間365日当直体制を敷いており、ICUも麻酔科管理のもと当直体制で管理可能としております。

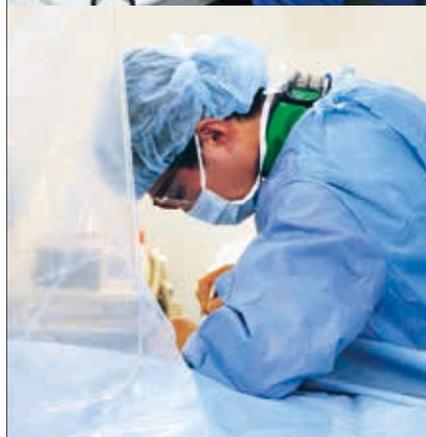
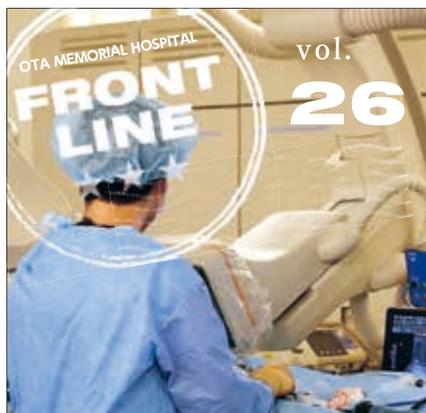
7列の当直体制(救急科、産科、小児科、脳神経、ICU、内科系、外科系)を稼働して地域の要望に応える努力を継続しております。

2015年度の実績は、平均病床利用率91.3%、平均在院日数10.8日、手術件数4820件、分娩件数757件でしたが、2016年度は12月の時点ですべて昨年度を上回る数字となっております。

当院は、患者様の権利を尊重し、皆様のご期待に応えるべく、引続き「思いやりの心で行う医療」を理念とし、4項目の基本方針を成し遂げ安全で安心な医療の提供に努めてまいります。

2017年も理念である「思いやりの心で行う医療」を念頭におき、チーム医療を推進して職員全員のベクトルを同じ方向として頑張る所存でおります。

よろしく願い申し上げます。



診療科紹介 循環器内科

地域の先生方と連携し
緊急疾患に高いレベルの医療を

主任部長 あんざい ひとし
安齋 均

循環器内科では血液の循環にかかわる心臓や血管に生じる病気を専門にしている科です。地域の中核病院として地域の先生方と連携し、緊急疾患に対しては24時間365日対応しつつ、かつ高いレベルの医療を提供できるように今後も努力を継続していきます。

国民の健康を脅かす疾患の一つである動脈硬化によって生じる代表的な疾患である狭心症、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血、大動脈瘤などは、低侵襲(患者様の負担の少ない)なカテーテル治療でかなりの患者様を治すことができる時代になっています。当科も様々な新しい治療機器を迅速に取り入れて治療に当たっています。また、心房細動に代表される不整脈、深部静脈血栓症などの静脈疾患に対しても、カテーテルによる治療介入を積極的に行っています。高度医療のレベルを保ち、さらに治療技術、成績を向上させていく事は当科の使命であると認識しています。

一方、心臓疾患の最終形である慢性心不全は高齢化社会の進展と相まって激増しています。高齢患者様の占める割合が多く、どのような治療をどこまで行うかが常に悩みがあります。心不全の再発、再入院予防、動脈硬化進行阻止のための生活習慣への介入などは、当科7名の医師のみではとても解決できず、医師以外のメディカルスタッフ、近隣の先生方の協力なくしては成り立ちません。病院内および地域医療施設との連携、役割分担を今後も進めていきたいと考えています。

● 日常の治療

外来は月から土曜まで初診患者様を受け付けており(午前中)、急性心筋梗塞などの緊急疾患は救命救急センターと連携し24時間対



応しています。なお、27年度の冠動脈カテーテル治療は430件、心臓以外の動脈、静脈カテーテル治療は295件、ペースメーカーや植え込み型除細動器の留置は76件、不整脈カテーテル焼却術は44件でありました。また心房細動講座(月1回)、心臓大血管リハビリテーション(週3回)も行っております。

●ピックアップワード

PAD

末梢動脈硬化性疾患(peripheral arterial disease: PAD)は聞きなれない言葉とは思いますが、10年位前から浸透しはじめ、循環器医師のなかでは一般的に使用されています。動脈は心臓(左室)から起始し体の隅々(末梢)に血液を運ぶわけですが、この動脈に動脈硬化によって狭窄、閉塞が生じるために起こる病気の総称です。下肢の動脈硬化が比較的多いため、足の狭心症である閉塞性動脈硬化症と同じ意味で使用されることもあります。足の動脈以外に頸動脈(頭に行く血管)、鎖骨下動脈(手に行く血管)、腎動脈(腎臓に行く血管)なども治療対象となります。下肢動脈狭窄、閉塞に伴う症状は間欠性跛行^{かんけつせいはいこう}と言われ、歩いていると主にふくらはぎが張って痛くなり、歩けなくなる症状が典型的です。これは脊柱管狭窄症という整形外科の病気と症状が似ており、患者様は整形外科を受診されることが多く、そのため見逃されがちであると思われます。PAD患者様は全身の動脈硬化が進行していることが多く、脳梗塞や心筋梗塞を生じる確率が高い事が分かっています。上肢と下肢の血圧差を測定するABI(ankle brachial index)という検査で簡単に選定することができますのでご相談いただければと思います。



当院の役割について【第4弾】

病院機能評価 認定病院になりました

「救急医療機能を適切に発揮している」
という項目、他2項目でS評価と認定されました。

当院は平成28年2月23日、24日に病院機能評価Ver.3.1の審査を受け、平成28年6月3日に認定されました。

*病院機能評価とは

我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、病院機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価し、一定基準に達する病院を認定する仕組みになっています。国民が安全で安心な医療を受けられるよう、4つの評価対象領域（「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」）から評価される評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理及び提供される医療についての評価が行われます。全ての項目において評価が基準に達することで認定を受けることができます。各病院では取得に向け様々な努力を行うため「病院の質改善活動を支援するツール」と言われています。

認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく日常的に努力している病院と言えます。現在、全国の約3割の病院が病院機能評価を活用しています。

*評価対象領域の構成

第1領域／患者中心の医療の推進：①病院組織の基本的な姿勢
②患者の安全確保等に向けた病院組織の検討内容、意思決定

第2領域／良質な医療の実践1：病院組織としての決定された事項の、診療・ケアにおける確実で安全な実践

第3領域／良質な医療の実践2：確実で安全な診療・ケアを実践するうえで求められる機能の各部門における発揮

第4領域／理念達成に向けた組織運営：良質な医療を実践するうえで基盤となる病院組織の運営・管理状況

*評価判定について

評価対象である各項目の評点はS・A・B・Cの4段階で評価されます。



※“A”のうち、非常に優れている場合“S”とする

(病院機能評価ガイドブック～病院機能評価ってなんだろう～第2版)

*受審までの流れ

院内周知から約1年間かけて、各種マニュアル、資料、同意書等の整備を行い、受審に向けて様々な改善を行いました。

S評価項目の内容

- ◎画像診断機能を適切に発揮している
- ◎救急医療機能を適切に発揮している
- ◎病院管理者・幹部は病院運営にリーダーシップを発揮している

*審査結果

S評価(秀でている)…………… 3項目
A評価(適切に行われている)…………… 75項目
B評価(一定の水準に達している)…………… 10項目
C評価(一定の水準に達していない)・該当無し

評価項目88項目のうち、S評価3項目、A評価75項目、B評価10項目、C評価は該当無しという結果となりました。

特に「救急医療機能を適切に発揮している」という項目でS評価をいただいたことは、3次救急病院として日々の努力が認められた結果であり、非常に誇れるところでもあります。

認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく日常的に努力している病院と言えます。



ここをチェック!

interview 担当者インタビュー

なぜ病院機能評価を受審したのですか?

病院は理念や基本方針のもと、安全・安心で良質な医療サービスを提供しています。しかしそれは病院側の視点であり、患者様の視点から見た場合とは異なることもあります。また、病院は良質な医療を提供するために、常に医療の質の向上も図らなければなりません。

第三者による評価を受けることで、私たちが提供している医療サービスや組織運営がどの水準にあるのか、どこに課題があるのか、そのための改善への方向性を明確にし、医療の質の更なる向上を図るために病院機能評価を受審することにしました。

受審するにあたりどのような取り組みを行いましたか?

提供している医療サービスや組織運営がどの水準にあるのかを把握するため、対象となる88の評価項目についてS・A・B・Cの4段階で自己評価を行い、一定の水準に達していないものや、一定の水準に達しているが改善が必要なものについて改善活動を行いました。

具体的には業務マニュアルの新規作成や見直し、説明資料や同意書の変更など多岐にわたる内容の改善・整備を行いました。

受審したことでどのようなメリットがありましたか?

自己評価による業務の見直しを行うことで多岐にわたり改善が実行され、より一層、安全・安心な医療サービスを提供できるようになりました。

認定病院は、日本医療機能評価機構のホームページで評価の内容が公開されています。そのため患者様でも見る事ができ、病院に対する理解を深めてもらえればと思います。また、私たちが提供している医療サービスや組織運営が一定の水準を満たしていることが認められたことにより、今まで以上に責任と誇りをもって業務を進めていくことができると考えています。

今後について教えてください

病院機能評価の受審は、患者様に提供している医療の質を向上させるためのものです。今回の受審で課題も明確になり、今後もより質の高い、そして安全・安心な医療サービスの提供を実践することで、これまで以上に地域医療に貢献をしていきたいと思っています。

今回の受審では全ての項目において基準をクリアし、救急医療など3項目については他病院の模範となる高い評価を受けることができましたが、病院機能評価の認定期間は5年間です。次の更新に向け、常に改善を行っていくことが求められています。



次回更新までのスケジュール



● 栄養課通信

糖尿病編

食事を変えてカラダ改善

管理栄養士・糖尿病療養指導士 加藤裕子

日本人男性の16%、女性の10%は糖尿病有病者

食事療法は全ての糖尿病治療の基本

糖尿病とは血糖値を唯一下げるホルモン・インスリンの作用不足で起こる慢性的な高血糖状態の事を言います。症状が無いからと言って放置しておくとう神経障害や網膜症、腎症などの合併症や脳梗塞、心筋梗塞などの大血管障害のリスクも高くなってきます。

糖尿病は何らかの原因でインスリンが作られなくなってしまった1型糖尿病、過食、運動不足などの要因からインスリンの分泌不足や作用不足が起こる2型糖尿病など、いくつかの種類に分ける事が出来ますが、食事療法はその全ての糖尿病治療の基本になってきます。



Point 食事療法のポイント



① バランス良く食べる

主食・主菜・副菜をそろえ1日3食規則正しく食事を摂りましょう。

② ゆっくりよく噛んで腹八分目

脳が満腹感を感じるまでにはある程度の時間が必要です。ゆっくりよく噛んで食べることで食べ過ぎ防止にもなります。

③ 食物繊維はたっぷり

野菜やきのこ、海藻などに多く含まれている食物繊維は、食物の消化吸收をゆるやかにするため急激な血糖上昇を抑えてくれます。

④ 脂質、塩分は控えめに

脂質の摂り過ぎは肥満や動脈硬化、塩分の摂り過ぎは高血圧の原因となり、合併症を進めてしまう恐れがあります。

糖尿病食は健康食です。正しい食習慣を身につけましょう!

healthy recipe

切干大根サラダ

1人分

(45kcal、食物繊維2g、塩分0.9g)

噛みごたえあり!

切干大根を使ったサラダなので低カロリー・低塩分ですが噛みごたえがあり、満足度の高い一品です。

【材料・3人分】

- ・切干大根 …… 30g
- ・人参 …… 5cm
- ・胡瓜 …… 1/2本
- ・鰹節 …… 3g(小パック1個)
- ★すりおろし生姜 …… 適量
- ★からし …… 適量
- ★酢 …… 大さじ3杯
- ★減塩醤油 …… 大さじ2杯
- ★ごま油 …… 小さじ1杯

タレ

【作り方】

- ①切干大根は水で戻し、軽く水気をしぼる
- ②胡瓜、人参は千切り。人参は電子レンジで1分加熱
- ③★を混ぜ、合わせダレを作る
- ④ボールの中に切干大根、胡瓜、人参、鰹節を入れ③のタレと一緒に混ぜ合わせる





かかりつけ医・登録医ご紹介

足立医院

あだち こうじ
院長 足立 厚二

地域に根差して35年

長くご利用いただいている方も多し。



● **開院のきっかけ**：元々は東京都の出身であるが、群馬大学への進学をきっかけに群馬県に移住。大学卒業後、群馬大学付属病院、本島総合病院、東邦病院を経て昭和57年に開業。元々開業をしたいという想いを持っており、経験を積み、現在の場所へ足立医院を設立。現在創立35年を迎えている。

● **特徴**：地域に根差して35年になる為、長くご利用いただいている方も多し。初めて受診した時は若かった人も高齢になり、その方のお子さんもご利用

いただいているケースもしばしば。現在ご利用いただいている患者さんの7割くらいは高齢の方。これからも地域の為に頑張っていきたい。

● **心がけていること**：できるかぎり患者さんを待たせないように、診察をしている。また日曜日も診察を行っている為、遠方から飛び込みで来る方も多し。そういう人たちも大切にしている。

● **今後の目標**：身体の許す限り、長くここでの診療を続けていきたい。

診療科：内科・呼吸器科・アレルギー科

住 所：太田市大原町134-5
電 話：0277-78-6556

診療時間：

(午前) 9:00~12:30

(午後) 14:30~18:00

休診：月・木・金午後、火終日、祝日

※日曜日に関しては診察しているか来院前に確認してください。

日曜日も診察を行っている為、遠方から飛び込みで来る方も

REHABILITATION NEWS

リハビリ 通信 vol.4

「肩関節周囲炎のリハビリについて ～四十肩・五十肩を知ろう～」



肩関節周囲炎は主に40~60歳代に発症することが多いため四十肩・五十肩とも言われている病気です。症状は肩関節周囲の痛み・可動制限が主にあり、睡眠・生活に支障をきたす大変な病気です。炎症期・拘縮期・回復期の3つを経て治るといわれています。各々の時期とリハビリについて紹介します。

●炎症期：発症～約2週間

関節の痛みは強く、動かすこともできない時期。寝ていても痛くて辛いですよ

ね。運動は困難で安静が必要な時期です。特に冷やさないことが大切でお風呂に入ってよく温めて保温しましょう。

●拘縮期：炎症期～約6ヶ月

安静時の痛みは弱くなる傾向にある時期。運動は痛みが残らない程度で行う。約1kg程度の錘を持って腕をぶらぶら動かす振り子運動や壁や窓に手をつけてバンザイをするなどの運動がお勧めです。

●回復期：拘縮期後

安静時の痛みはなくなる時期、積極的に関節を動かす運動療法を行う。タオルや棒を使った体操や頭上にある滑車を利用した挙上訓練、両手を腰のところで回すような運動が良いです。

運動はどのくらいの強度がよいの？

運動しているときに痛みが出る場合もあると思います。運動を終了して、しばらく経過しても痛みが取れない・さらに痛くなる場合は運動負荷が強いと思われる。痛みが出るとがんばった感じがして、さらに高負荷で運動する方もいらっしゃいますが、痛みや炎症を助長する可能性もあるので注意が必要です。

肩関節周囲炎は個人差の大きい病気です。痛みや関節可動域制限の程度、症状の経過で変化していきます。治療後、数日で治る人から数年かかる人もいて様々です。特に寒い時期は症状が出やすい時期です。対処法を知って少しでも楽に生活ができるといいですね。

新任医師のご紹介

新しく着任いたしました。
よろしく願いいたします。



小児科医長
ほり ひでゆき
堀 秀之
H28年10月1日入職



麻酔科
たかはしかなこ
高橋佳奈子
H28年10月1日入職



形成外科医長
ふかさわえみ
深澤 冨み
H28年10月1日入職



脳神経外科
とみた ようすけ
富田庸介
H28年10月1日入職



整形外科
こばやしひろき
小林洋樹
H29年1月1日入職



整形外科
まえだよしひろ
前田祥宏
H29年1月1日入職



産婦人科
まきじゅんこ
眞木順子
H29年1月1日入職

ふれあいフェア2016を実施しました

平成28年11月5日にふれあいフェア2016を実施しました。
今年で4回目となるふれあいフェアは毎年多くの方々にご参加
頂いております。

医療に関する体験コーナーや、普段あまり目にする事のない
病院内の機器の紹介・展示、また診療部長による講演会、各種
模擬店や起震車体験等もあり、大いに盛り上がりました。

次年度も11月頃実施する予定としております。今年よりも
パワーアップしたイベント実施をしていきたいと思っております
ので、是非皆様お越しください♪



院内ボランティア募集のご案内

当院では患者様へのサービス向上のため、院内ボランティアを募集
しております。業務内容は受付・精算機周辺での患者様のご案内など
が中心となっております。

活動日時：病院休診日を除く平日・土曜日
(8:30～12:00までの間で2時間程度)

※活動日・活動日数等ご希望に応じて調整可能で
す 年齢：18歳～70歳くらいまでの方(高校生不可)

連絡先：太田記念病院 総務課

総合防火訓練を実施しました

平成28年11月25日に院内総合防火訓練を実施
しました。4階のコインランドリーから出火を想定し、消防
機関への連絡、初期消火、避難動線の確認をし、入
院している患者様の安全確保、避難誘導の方法を確
認しました。

太田消防署様にご協力を頂き、消化器の使用方
法の確認を行いました。



クリスマスイベントを行いました

12月22日にクリスマスイベントを実施致しました。今年は市
立太田高等学校の吹奏楽部の皆様にお越し頂きました。3年
生が抜け、新体制での初めての演奏だったそうですが、初めて
を感じさせない素晴らしい演奏をして頂きました。

今年は約80名の方にご参加頂きました。また次年度もイ
ベントを実施致します。お楽しみに♪



富士重工業健康保険組合
太田記念病院

TEL.0276-55-2200(代)
FAX.0276-55-2205
〒373-8585 群馬県太田市大島町455番地1

太田市平日夜間
急病診療所はこちら

TEL.0276-60-3099
太田市飯田町818 太田市保健センター1階
診療日：月・火・水・木・金・土
※日・祝日・年末年始は休診となります
受付時間：午後6時45分～午後9時45分

太田記念

検索

ホームページアドレス
<http://www.ota-hosp.or.jp>



太田記念 FB

検索

フェイスブックアドレス
<https://www.facebook.com/otahosp>

